

## 1 活動名 米海兵隊基地と街づくりについて（山口県岩国市）

### 2 調査の目的

#### (1) 本市における課題

本市には、松本駐屯地があるが、街づくりという観点から、更なる取り組みが必要である。

#### (2) 調査の必要性

平成29年、北朝鮮からミサイルが発射され、全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った。今後、更に国の安全保障政策が進められる中で、基地の安定的な運用はもとより、基地との共存が求められる。

#### (3) 調査項目

米海兵隊基地と街づくりについて（山口県岩国市）

### 3 調査地選定理由

#### (1) 米海兵隊基地と街づくりについて（山口県岩国市）

岩国市は、市民が基地との交流を行うとともに、自衛隊や米軍から多くの人がボランティア活動に参加している先進地である為

### 4 調査結果

#### (1) 実施日 平成29年6月27日

#### (2) 出席者 7名 青木豊子, 上條温, 草間錦也, 川久保文良, 今井ゆうすけ, 青木 崇, 芝山 稔

#### (3) 成果・所感等

岩国市は、基地が存在する自治体として、国から防衛施設関係の交付金などが交付されており、それを活用して様々な事業を実施している。

また、治安対策の強化や住宅防音工事区域の拡大を含めた騒音対策の強化など、43項目の安心・安全対策と地域の発展に資する地域復興策を実施するよう、国に要望している。

一方で、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々が、英語教育、文化、スポーツなどの分野で基地との交流を行うとともに、災害時や地域の清掃活動などの際には、自衛隊や米軍から多くの人がボランティア活動に参加している。

岩国市は、「基地との共存」を初めて岩国市総合計画（平成26年12月策定）に明記した。米軍基地のメリットの部分を活かし、日米交流や経済復興等、市の発展のために現実的な視点で取り組んでいる。例えば、岩国で発生した豪雨災害でのボランティア活動、防衛省主催の日米交流合同コンサート、錦帯橋祭りへの参加や田植えの体験、更には基地内グラウンドにてサッカー交流が行われている。本市としても、本市の強み・メリットを最大限に活かしていく必要があると考える。

**5 政務活動費**

(1) 使途項目	調査旅費
(2) 支出額	467,340 円(日当 9,000 円、宿泊費 29,600 円、交通費 39,290 円)×6人

一以 上一

※今井議員は政務活動費不使用